

やまとで生きた人々への聞き書き: Time and Place Project

私たちは人々のご経験を聞いて、次世代や後世の人々に伝える活動をしています
【令和6年度大和市民活動推進補助金(めばえ)事業】

第7回ワークショップ

下鶴間の郷土史愛好家・柴田巻司氏 我が家のファミリーヒストリーを おおいに語る

日時: 2024年12月1日(日曜日)14時~16時

場所: 大和市民活動センター2階 会議室2 (大和市長見西1-2-17)

参加費・資料代 500円 (事前申し込み不要) 誰でも参加できます

問い合わせ先: rekishikoboyamato@gmail.com 080-4201-7568(酒井)

下鶴間の山王原に代々続く農家の5男として生まれた柴田巻司さんは、両親や祖父母にかわいがられて自由奔放に育った人である。戦前からの下鶴間における民俗や風習に詳しく、仕事の合間に自ら郷土の歴史を調べて歩く市民郷土史愛好家である。

柴田家は、おそらくは17世紀後半から山王原に住んでいたと思われるが、菩提寺の火事で過去帳が焼失したそうである。柴田さんが調べて記した家系図では、5代前の先祖から今日までの家族の動向が示されている。柴田家は、近隣の村の家族と婚姻や養子縁組を通じて、つながりを作っていた。その家風は家族を大事にすることであり、家督を継がなかった次男や三男たちを他家の作男に出すことはなかったという。次男・三男以下は、横浜や東京に働きに出たり、女の子も東京に出たりして成功した人もいたという。独立自尊の気風を誇った家族である。

今回のワークショップでは柴田さんに家系図を基にファミリーヒストリーを語ってもらう。そこには、農業社会から戦争を経て都市化し、さらには工業化から脱工業化へと移り変わった大和の近現代を表象する一つの家族史が表れている。時代の変化の波を受けながらも、独立自尊の生き方を守ってきた柴田さんのファミリーヒストリーから、私たち自身の歴史を考えてみよう。ファミリーヒストリーもまたオーラル・ヒストリーの隣接領域である。



インタビューの技法を日常生活、仕事、調査に生かしたい人を対象に

「はじめてのインタビュー(基本編)」講座も開催します。

日時; ①11月12日(火)、②11月28日(木)、③12月28日(木)

時間すべて13時半~15時半(2時間)

①メモを取りながら聞く ②録音機を使ってみる ③文章にまとめてみる

場所: 大和市民活動センター1階(会議室1)

事前予約不要、(参加費・資料代)各回200円

1回だけの参加でも可能です

誰でも参加できます。事前予約不要

問い合わせ先: rekishikoboyamato@gmail.com

または080-4201-7568(酒井)

